

須坂市教育委員会12月定例会 会議録

1 日 時 2024年12月25日（水）午後2時00分～午後4時00分

2 場 所 須坂市役所 305会議室

3 出席した委員

教育長	勝山 幸則
教育長職務代理者	二ノ宮邦彦
教育委員	土屋 保男
教育委員	村石 忍
教育委員	湯本 理恵

4 説明のため出席した職員

教育次長	山岸 和美
学校教育課長	中村 健司
子ども課長補佐	窪田 潤一
人権同和教育課	森 まゆみ
文化スポーツ課長	寺沢 隆宏
生涯学習推進課長	寺澤 勝志
学校給食センター所長	村石 孝子
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅
指導主事	松木 智子

5 事務局出席職員

庶務係長	山本 雅代
庶務係	返町 美里

6 本日の会議に付した事項

（1）学校等の状況報告について

(2) 議 題

(3) 協 議

新しい学校づくりについて

(4) 一般行政報告

- ア 教育長出席行事の報告について
- イ 行事共催等承認の報告について
- ウ 12 月定例会市議会報告について（当日配布）
- エ 井上地域交流施設（井上地域公民館・井上地域児童クラブ）について
- オ その他

(5) その他

- ア 教育委員会行事予定について
- イ 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
- ウ 2024年度卒業式の出席者予定について
- エ 教育委員と社会教育委員の懇談会について
- オ 「第51回部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」開催報告について
- カ その他

教育長が開会を宣した。

(1) 学校等の状況報告について

教育長が説明を求め、主任指導主事が説明した。

- ・児童生徒数については先月から増減はなかった。
- ・学校事故について報告は現在まで66件。
- ・薬の過剰服用があったが、児童が処方されていたかぜ薬を飲み忘れており、飲んでいなかった分をまとめて過剰に服用してしまった。
- ・また、服用している薬の禁忌食品を口にしてしまった事故があった。服用した生徒に異常はなかった。
- ・保育園の事故報告については捻挫が2件。

- ・30日以上欠席について、小学校45名、中学校79名。昨年度より中学生が多くなっている。
- ・新規不登校者数については中学校が9名と多いが、他は例年並みとなった。学年別経年変化についてはその年によって不登校数の多少はある。
- ・学級閉鎖、学年閉鎖について。コロナ禍が終わり、またインフルエンザによる学級、学年閉鎖が増えてきている。
- ・いじめに関する調査（11月）については次回協議とする。

教育長：

- ・けがについては教頭会、校長会で気を付けるよう周知している。不登校については難しい問題であるため、教育委員会内でも知恵を絞っていきたい。

（2）議題

なし。

（3）協議

新しい学校づくりについて

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

学校教育課長：

- ・市報1月号にて、基本方針案が発表になるとともに、市民から意見の聴取が行われる。アンケートについては1ヶ月間募集し、いただいた意見を集約し回答しながら、4月以降地域説明会を行っていく。
- ・議会からは義務教育学校と小中一貫学校の違いについて、管理職の減少についての意見が質問・懸念事項として出たが、それらと市民からの意見を合わせてQ&Aのような形で回答していきたい。

教育長：

- ・今回の市民の意見聴取はパブリックコメントではなく、幅広く様々な意見を求めている。今回いただいた意見をもとに地域説明会を開き、そこで出た意見を精査したのち案を修正し、パブリックコメントを実施するという。前段階について丁寧にやることを考えている。

また、カリキュラムについて北村指導主事より説明があった。

カリキュラムと特色については今後2月の策定委員会で諮ってから公開となるため、現時点では非公開の旨教育長より説明があった。

委員：

- ・リーフレットについて、全戸配布する際に「インクルーシブ」や「ユニバーサルデザイン」という言葉について補足があったほうが良い。また、今までの1年～6年ではなく、1年～4年と5年～9年という分け方をする理由について具体的な説明が保護者にあると良い。

指導主事：

- ・5年生から学習が難しくなるという理由もあるが、6・3制ができた昭和20年に比べ現在は子どもたちの成長も早く、子どもたちの身体に学校教育がついてこない現状がある。そういった点を保護者に伝えられるように考えた。

委員：

- ・保育園、幼稚園での経験から考えると、小学校以前に座って人の話を聞ける力をつけていかないと大変難しい。グローバル教育、ふるさと教育にしても、園小接続をもっと重点的にやってほしい。また、幼稚園は子どもたちに英語教育などもやっている。保育園でもそういった教育を取り入れていくべきではないかを感じる。

教育長：

- ・保育園の英語教育はどうか。

子ども課長補佐：

- ・現在事業者に委託して、各園を巡回し英語教育をしてもらっている。

指導主事：

- ・ALTには英語を多く聞くという目的で、保育園で絵本の読み聞かせを行っている。

教育長：

- ・園小接続のキーワードとして、非認知能力の育成を第一にしている。園での基本的な生活習慣を身に着けることが小学校の学びへつながっていくという文言も盛り込むといいと感じる。

指導主事：

- ・現在は園小接続のカリキュラムもしっかりできている。園から育てる非認知能力は小学校低学年で終わるわけではなくその後一生つながっていくこと。学校教育だけではなく、子ども課や生涯学習推進課も子どもの各時代にどんなアプローチができるのか、それを具体的に考えていく必要がある。

教育長：

- ・学力が目についてしまうが、園小接続については基本的な姿勢など、非認知能力の育成が小学校の学びに引き継がれていくことについてしっかり書いていくのも一つの方法としてある。事務局の中で相談したい。

委員：

- ・確かに保育園と幼稚園との関連性というスタートラインの部分が足りないと感じる。小学校ではカリキュラムが一律になるが、幼保の時点でのスタートラインの足並みがそろっていないと、小学校での学びが難しいところがあるのではないかと感じる。

教育長

- ・スタートラインとしての幼児教育についてもっと盛り込んでいきたい。須坂市では園小接続を重要視しているため、そこを強調するが、実際は小中接続、中高接続もある。カリキュラムでどこを重要視するかはまたしっかりと検討していきたい。

委員：

- ・現在日本で中高一貫は認められ伸びている。中高一貫では中学生の感性が非常に伸びる。高校生というロールモデルがあるため。小中一貫となったときに、中学生と小学生が一つのカリキュラムで学ぶとき、音楽会・運動会・学校祭などの集団の文化がつながることにメリットがあると思う。特色の中にはそれについて触れられてはいない。何か一言追加してもいいと感じる。子どもたちにとって、知的な成長だけではなく文化的成長も非常に重要と感じている。

指導主事：

- ・小中一貫にしたとき、運動会や音楽会をどうするかはこれから検討していく段階のため、まだ入れることができなかった。また、義務教育学校と小中一貫校では小学校卒業式の有無も変わってくるため、同じ須坂市の中で差をつけたくないと感じる。今後の検討委員会で話していきたい。

教育長：

- ・様々な意見をいただいた。検討委員会内でしっかり検討していきたい。

(4) 一般行政報告

ア 教育長出席行事の報告について

- ・教育長が説明した。

イ 行事共催等承認の報告について

- ・教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。
後援11件。新規は1件。

ウ 12月定例市議会報告について（当日配布）

- ・1月に変更になる旨が教育長より説明された。

エ 井上地域交流施設（井上地域公民館・井上地域児童クラブ）について

- ・教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

オ その他

- ・なし。

(5) その他

ア 教育委員会行事予定について

- ・教育長が説明を求め、各課長が説明した。
- ・12月17日に学校給食功労者表彰について須坂市給食センターが表彰されたことを学校給食センター所長が報告した。

イ 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

- ・教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

ウ 2024年度卒業式の出席者予定について

- ・教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

エ 教育委員と社会教育委員の懇談会について

- ・教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

オ 「第51回部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」開催報告について

- ・教育長が説明を求め、人権同和教育課長補佐が説明した。

カ その他

- ・なし。

教育長が閉会を宣した。